

真紅の文字 (1926)

THE SCARLET LETTER

メディア 映画

ジャンル

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 90分

初公開日 不明

【解説】

グリフィス作品のいたいけなヒロイン=L・ギッシュが、少女の可憐さはそのままに、姦婦の烙印を縫いつけた服の着用を強制されながら、愛する男の名誉を守ろうとする情熱の女性=ヘスター・プリンを演じる、ナサニエル・ホーソンの『緋文字』の、スウェーデン出身の名匠シエストレムによる映画化。戒律の厳しい清教徒の町ボストン。新しく赴任した人間味ある牧師ディムズデルに魅かれた自由人ヘスターは、やがて夫の留守中、彼と関係を持ち、その子を宿すが、それと知らず彼は他の教区へ移ってしまう。明らかに私生児を設けた彼女は生涯、姦淫を象徴する赤いAの文字を胸に纏うことを義務づけられるが相手の名は頑として明かさない。ロケ撮影を多用した自然主義的な演出の中に素晴らしい劇的効果を、例えば、ヘスターの覗き込む水鏡の描写などで生み出す、シエストレムのヨーロッパ的感性にうたれ、何より、ギッシュの気高く凄みある名演に圧倒される。

【クレジット】

監督	ヴィクトル・シエストレム	Victor Sjöstrom
原作	ナサニエル・ホーソン	Nathaniel Hawthorne
出演	リリアン・ギッシュ	Lillian Gish
	ラス・ハンソン	Lars Hanson
	ヘンリー・B・ウォルソール	Henry B. Walthall
	コリーン・ムーア	Colleen Moore